

# ルネサンスの 多面体百科

ルネサンス時代の  
絢爛豪華な  
手書き多面体の  
図集

FANTASTIC GEOMETRY:  
Polyhedra and The Artistic Imagination in The Renaissance

デヴィッド・ウェイド 著  
宮崎 興二 編訳 奈尾 信英・日野 雅之・山下 俊介 訳  
A5判・310頁 予価(本体5,800円+税) ISBN978-4-621-30311-5

## 本書の特徴

- ❖ ダ・ヴィンチ、デューラー、ケプラーが大活躍
- ❖ 隠れた有名人ヴェンツェル・ヤムニツァー登場
- ❖ 昔の天才が夢見た未来のかたちや建築の集大成
- ❖ 科学者と芸術家のための新しい歴史書
- ❖ 未来の造形のためのヒント満載

## 目次一覧

### 幻想の幾何学

- 1. 驚くべき発想の古代における源泉**  
ピタゴラスとプラトン、ならびにその後継者たち/ビザンチン文化とイスラム文化における古代ギリシャの知恵 ● プラトン主義
- 2. 西方ラテン世界のルネサンス**  
知の翻訳と伝達/プラトンの立体の図示/新しい視覚: ルネサンスにおける幾何学、光学、そして透視図/フィレンチェにおける透視図 ● 2次元平面上の3次元: 透視図の作図方法と作図道具
- 3. 北方ルネサンスの幾何学と透視図法**  
ラートドルトによるユークリッド『原論』/デューラー: 画家、ヒューマニスト、そして

幾何学者/近世初期の博学者たちと透視図ならびに幾何学/ケプラー: 宇宙の数学者 ● ルネサンス期の印刷と出版

### 4. 16世紀のドイツにおける幾何学

デューラー以後の幾何学手引き書/普及者たち: ロドラー、ヒルシュフォークル、そしてラウテンザック/実作者たち: ヴェンツェル・ヤムニツァー、ヨハネス・レンカー、ローレンツ・シュトール、そしてある無名作家/後継者たち: プフィンツィンクとハルト ● ニュルンベルク: 近世初期の産業と文化の中心地

### 5. 関連分野の流行と衰退

イタリアにおける透視図法の幾何学的研究/透視図とバロック: 幻想の幾何学の終焉

## ルネサンスの 多面体百科

Fantastic Geometry-Polyhedra and The Artistic Imagination in The Renaissance  
David Wade

デヴィッド・ウェイド 著  
宮崎興二 [編訳] 奈尾信英・日野雅之・山下俊介 [訳]



丸善出版

幾何学と偉大な知性: レオナルド、デューラー、ケプラー  
ヴェンツェル・ヤムニツァー  
ローレンツ・シュトール  
ドイツのその他の幾何学的透視図作家  
イタリアとフランスにおける幾何学的透視図作家

### 付録

イタリアにおける象眼細工 (インタルジア)  
ドイツにおける象眼細工 (インタルジア)  
マゾッキオ  
象徴的球体  
参考文献  
訳者による補遺  
事項索引/人名索引



ラートドルトの『原論』(1571年)の扉表。この扉表には、幾何学と透視図法の関係が示されている。中央には、幾何学と透視図法の関係を示す図があり、その周囲には、幾何学と透視図法の関係を示す図があり、その周囲には、幾何学と透視図法の関係を示す図がある。

### はじめに

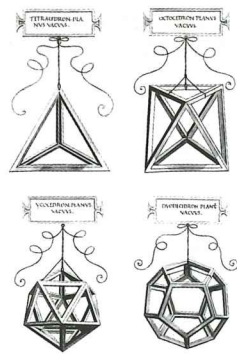
18世紀中ごろのドイツでは、それは以前とはほとんど見られなかったにもかかわらず、それはしばしば見られる多面体の図が、いくつかの書物に印刷されて出版された。本書の目的は、その図の起源と、それによって不正確な現代の学問を支持して、それを初めて見る人々を驚かすに似ていない、といつても多くの多くは驚かすに似ていない、と見られている名前からも比較的に知られたものを知ることである。それにもかかわらず、どこでどこでどのようにして生み出されたかについては、今となっては推測するしかない。もともと何のために工夫されたのだろうかという謎もある。紹介する多くの図に共通する謎である。

こうした図が収録されているほとんどの書物は、1800年代中ごろまで短い期間に、ニュルンベルクというドイツの都市で出版された。この特定の場所と時期で作られたということには、まだ十分な意味がある。しかし、印刷術を使った出版業がまだ始まったばかりの時代なのに、多くの書物は読みやすく、あるいは非常に美しく装丁されているのである。また表紙の説明はないが、ほとんどがドイツ語で「幾何学」という言葉が用いられている。これは、いったい何を意味しているのだろうか。

残念ながら、こうした疑問を解こうとしても、本書で取り上げる範囲の書物には、図の解説や作家の伝記などはあまり見当たらない。はっきり知ることのできる事実といえば、作家のうち何人かはニュルンベルクで有名な金細工師だということである。その中でも、ヨハネス・レンカー、ローレンツ・シュトール、ヨハネス・マックスについては、それぞれの手紙や年表や出版履歴などがいくらかは残っているが、それではシュトールとレンカーについての情報はきわめて少ない。3人も同じような技術を持つ作家で、16世紀後半から17世紀前半にかけて活躍したようであるが、ワグネルが『原論』で述べたことについては、ほとんど見当たらない。

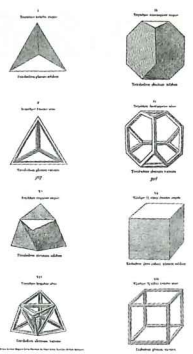
そのほか、既述されるように、各図を写し出したときの原図の元のよなものがほとんど見当たらない。これは、その図の元のよなもので、多面体の中でもとくに規則性のあるものの魅力に取りつかれたきっかけは、おそらく古代ギリシャの古典にあったようである。つまり、ピタゴラスからプラトン

ルネサンスの多面体百科

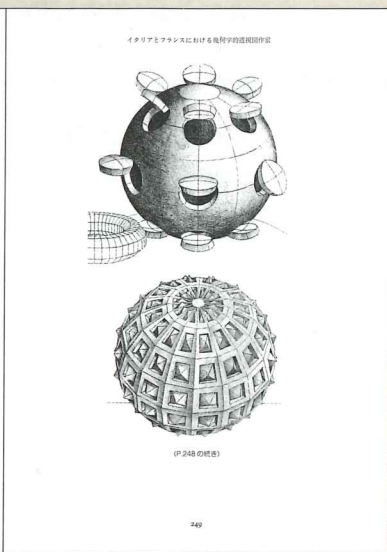
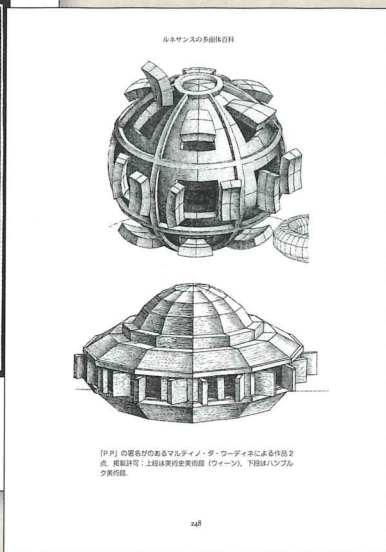
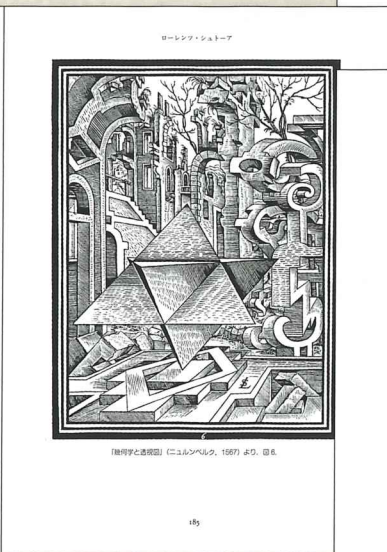
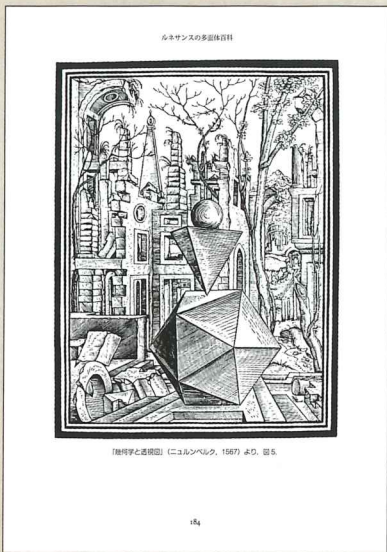
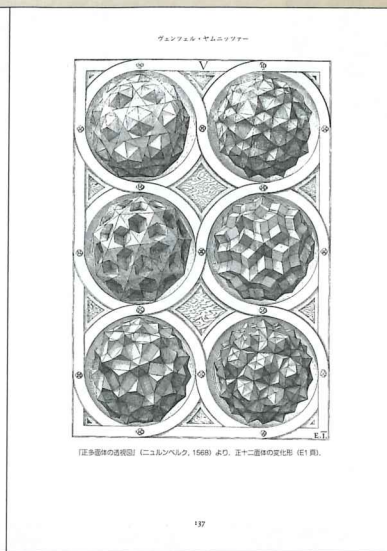
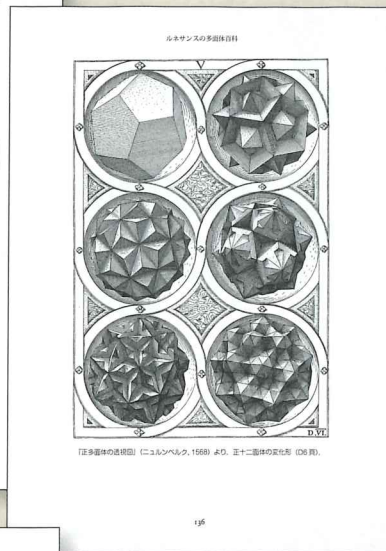
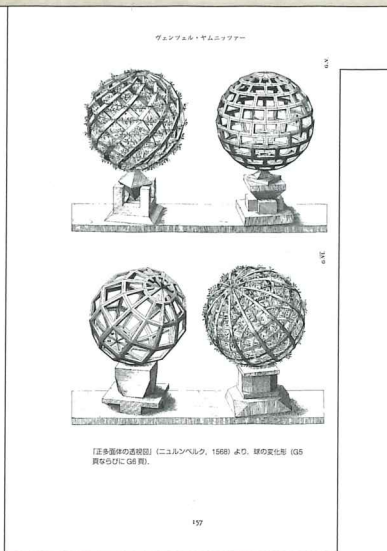
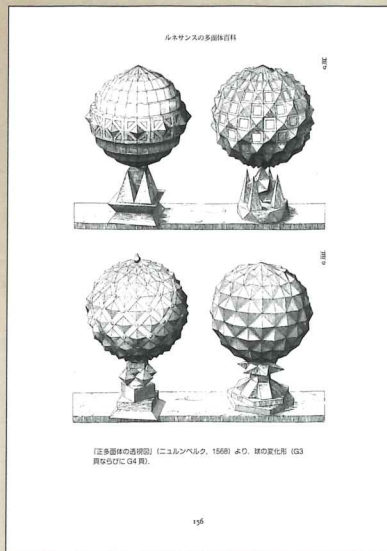


バチーリョの『幾何学』(1565年)の扉表。この扉表には、幾何学と透視図法の関係が示されている。中央には、幾何学と透視図法の関係を示す図があり、その周囲には、幾何学と透視図法の関係を示す図がある。

幾何学と偉大な知性



バチーリョの『幾何学』(1565年)の扉表。この扉表には、幾何学と透視図法の関係が示されている。中央には、幾何学と透視図法の関係を示す図があり、その周囲には、幾何学と透視図法の関係を示す図がある。



■ 関連図書一覧 ■

- 『多角形百科』 細谷治夫・宮崎興二 編  
A5判・322頁 定価(本体5,800円+税) ISBN978-4-621-08940-8
- 『多面体百科』 宮崎興二 著  
A5判・322頁 定価(本体5,800円+税) ISBN978-4-621-30044-2
- 『かたちの事典』 高木隆司 編集委員長  
A5判・944頁 定価(本体24,000円+税) ISBN978-4-621-07190-8
- 『美しい幾何学』 E. マオール・E. ヨスト 著 高木隆司 監訳  
A4変判・212頁 定価(本体2,700円+税) ISBN978-4-621-08921-7
- 『かたち創造の百科事典』 岩田修一 総監修 河口洋一郎 図版監修 かたち創造の百科事典編集委員会 編  
A5判・514頁 定価(本体20,000円+税) ISBN978-4-621-08555-4

丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6F 書籍営業部 TEL (03) 3512-3256 FAX (03) 3512-3270 <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

丸善出版:発行 FAX 03-3512-3270

# ルネサンスの多面体百科

予価(本体5,800円+税) ISBN978-4-621-30311-5

冊

お名前 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

取 扱 店

※ご注文をいただいた個人情報は、書店、取次(流通)・弊社間で商品手配(新刊情報)を目的のために利用させていただきます。